

松くい虫防除対策の充実強化等に関する意見書

長野県伊那市では、アカマツは、「伊那まつ」とも称され、赤や緑などの豊かな色彩によって構成される景観の壮大さは日本の原風景として知られています。

また、アカマツは、古くから建築用材や燃料材として、さらには松茸産出山林の樹種として、大切に保護され、活用されてきました。

しかしながら、一昨年の長野県内民有林における松くい虫被害は、過去最高となる78,870立方メートルに達し、被害対策に取り組んでいるものの一度拡大した被害の鎮静化は難しく、昨年も75,911立方メートルと予断を許さない状況となっています。

また、伊那市を含む上伊那地域の昨年の被害量は、4,953立方メートルと県下被害量の約6パーセントを占めています。特に伊那市は、北上する被害の最前線となっており、被害量は2,154立方メートルに及び、ここ3年間の対策費は1億円を超えています。地域住民の危機感は強く、積極的な施策の実施が望まれています。

以上のことから、国、県及び関係機関におかれましては、松くい虫防除対策の充実強化等を図るため、下記の事項について積極的な措置を講じられますよう強く要請いたします。

記

- 1 松くい虫被害の拡大を阻止するため、被害の最前線となっている地域において十分な防除対策が実施できるよう財政的支援を行うこと。
- 2 温暖化防止、国土保全や観光資源保護等の観点から、松林保全のための総合対策を強力に推進すること。
- 3 健全な松林の整備を引き続き強力に推進するとともに、守るべき松林を健全なままに保つため、その周辺の松林における樹種の転換に必要な予算を確保すること。
- 4 松茸などの特用林産物の保護活用に向けてあらゆる施策を実施できるよう財政的支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年12月24日

伊 那 市 議 会

衆議院議長	大 島 理 森	様
参議院議長	山 崎 正 昭	様
内閣総理大臣	安 倍 晋 三	様
財 務 大 臣	麻 生 太 郎	様
総 務 大 臣	高 市 早 苗	様
農林水産大臣	森 山 裕	様
林野庁長官	今 井 敏	様
長野県知事	阿 部 守 一	様